

2008.09.19 (聞き手 高橋素子)

---

高橋 先輩を差し置いて、八木健会長・しかもインタビューのプロに若輩者の私がインタビューというもおこがましい話ですが、若輩の私だからこそ出来る「よくぞこんな恥ずかしい質問を・・・」とお笑いを覚悟に、皆様にはお許し頂きますして・・・

会長 お手柔らかかにお願いしますよ。

高橋 では、ご挨拶程度のごく簡単なご質問から。「駄洒落好き」とはご自身のお言葉ですが、生まれつき面白い性格のお子様だったのですね。どなたかの遺伝ですか？

会長 小学校の時は放送委員で校内放送を担当していました。校内アナウンスのあと「担当者名」を名乗るわけですが私は 「担当は小刀でした」とやっていました。

それを許した先生も 鷹揚ですが 遺伝ということになると、父親譲りでしょうか、父は馬好きで「繫駕(けいが)」をマイカーがわりに乗り回していました。あの映画ベンハーに出てくる簡易な馬車です。変わり者でしょ。滑稽俳句とこんな話関係ありませんが。

高橋 いいえ面白い性格はどのように育つのかという意味で大切です。

★お引越しスミレは移植鏝(ごて)に載り

### ★蟻同士なにを話したのせうか

など句の中に子どもの様な純真さを今でもお持ちですが、戦後の様々に変わる世の中で〇十年もどの様にして純真さを保ち続けて来られたのですか？

会長 あなたは私の屈折した部分をご存知ないからそういう質問をなさる。

小林一茶を見て御覧なさい。継母に苛められ弟と何十年も財産争いをして次々に妻を亡くし子を失い。それでも童心の句をつくっています。私は決して純粹じゃない。メタミドホスの八木です。

高橋 なんてことを・・・

会長 言葉が過ぎましたが、人間は複雑なものです。

高橋 しかも

### ★蟬殻をぬぎつつあればセミヌード

等、ふふふっと笑えるのに、成程と妙に感心出来たりして・・・際どい滑稽句の中でも上品ですね。

でも「微苦笑俳壇」の人気の特選句の批評には、しょっちゅう「親父ギャグ」が飛び出して来て、

このギャップは何だろうと・・・そこが面白くて皆に益々受ける秘訣だとは思っていますが。ご自身の中に巾広くいろいろなご自分をお持ちですね？

会長 親爺ギャグとはいいません。

「駄洒落」ですね「地口」と呼びます。世間の人は地口を軽く見ますが、あれは滑稽の原点なんですね。

NHKに在職中に「駄洒落日本一は誰じゃ」という番組を提案したことがあります。勿論、没になりましたが（笑い）。  
駄洒落を軽蔑されることを恐れているのは高尚なユーモアにも到達しないでしょう。

高橋 ところで「滑稽句」の中にも、上品なふつと言う笑いからこれはちょっとと思える様なものまであり、賛否両論ですね。  
私は幅広くいろんな滑稽句の形があっても良いのではと思っておりますが、会長はそれについてはどう思われますか？

会長 ホームページ上でさまざまな方が滑稽について語ってくださっています。  
「これはちょっと」は「下品」ということですね。  
下品が登場すると必ず反発する者が出てきてゆり戻します。

室町時代の犬筑波集の「にがにがしくもをかしかりけり わが親の死ぬるときにも屁をこきて・・・」という付合、  
これ、面白いでしょう。  
親の臨終の風景ですよ。この句を江戸時代になって近世俳諧の祖・松永貞徳は激しく非難しました。それに対して談林派の岡本なんとかという人が反論・・・

高橋 「俳句王国」の時代からのご活躍ぶりは知られているところですが、誰にでも簡単に出来て、めきめき俳句力をつける秘訣を内緒でちょっとお教え頂けませんか？（笑い）

会長 隠し事は嫌いですから・・・公開しましょう。朝から晩まで 五七五で喋る。これがいちばんです。  
買物に行っても

**八百屋さん大根一本下さいな**

## 父ちゃんがふるふき大根好きなんで

すると八百屋さんが

## 奥さんの脚より太いさあどうぞ

なんてね(笑い)

高橋 いい加減にして下さい。  
さて、「滑稽俳句」と「現代川柳」について・・・今日これが一番お聞きしたいテーマなんですが・・・。

私自身は「川柳」は世の中や他人を穿ち面白可笑しく皮肉を込めて揶揄したり、ぼやいたりするものだと思っていましたが、最近は「滑稽俳句」ではないかと思われる心優しい「川柳」沢山出て来ましたね。

私は、「川柳」そのものが面白くなくなったと感じてますが、会長は「滑稽俳句」と「現代川柳」についてどのようにお考えですか？

会長 私は、最近まで、「月刊・川柳マガジン」で「笑いのある川柳」の選者をしてたんです。たしかに川柳に「笑いが不足」「穿ちも不足」しています。私は愛媛新聞の月刊誌で「川柳アート」というページの選者をしているんですが、ここには 笑いのある穿ちのある作品が集まります。ですから、川柳でも 俳句でも選者が率先してそういうものをつくり、選びというふうした方がいいと思います。

高橋 今回「滑稽俳句協会」の設立にあたって、会長は「失われていた滑稽を俳句に取り戻し滑稽句

について議論追求する事によって質の高い滑稽俳句を後世に残すこと」を目的に挙げられていますが、現在、教鞭を執っていらしゃって、後世滑稽句を担ってくださる愛媛大学の学生さん達若い方の反応はどうですか？

会長 学生の中には結社に属したり高校時代に 俳句を学んだりした方がいます。  
そういう方は最初は反発します。  
ところが次第に滑稽句の良さが分かってきて、最終回のレポートには「目をひらかれました」という文言が多いのですよ。

高橋 お話は変わりますが、とても私には不可能ですので横着をして、「こころを洗う旅」癒しの八十八か所のDVDを見ながら、俳句を味わいながら、会長とご一緒してお遍路さんになっている気分になっていますが、実際にひと回りされて何か心に得られたもの、考え方が違って来たというものがございますか？

会長 こころを洗う旅・・・愛媛の民放あいテレビの番組ですが、あの番組を担当して、ふたつのことを会得しました。

ひとつは 私たちは大きな力に生かされていることを体感できたことです。  
千年単位の歴史を持つ霊場の威厳に打たれたからでしょうか。そしてもうひとつ、瞬間的に句を詠む力がつきましたね。寺に到着すると、ディレクターから「この風景で三句。この風景に二句詠んでください」と指定されるんです。

五分以内でつくる。それからカメラを回すわけです。待たなしですから、それが放送されてDVDにもなる。・・・恐ろしいことですが ひとつも恥ずかしい句はありません。だからあの放送をご覧になった方が簡単に俳句ができるものと思って・・・（笑い）

高橋 ところで、今まで数限りないほど俳句を御詠みになられてますが、ご自分で自信作を五句あげて頂けるとすれば・・・説明またエピソード等をつけてご紹介ください。。

会長 ひとつひとつの句に思い出があります。  
自信作は句集の中の半分か三分の一ですね。私は七年連続で句集でしたんです。八冊目も原稿は出来ています。  
最近の句では、

★切り分けし西瓜の塔に種の窓

★怠けぐせ治らず春の海のたり

★逃水は神のお漏らしかも知れぬ

★窮屈をものともせずに紙魚の恋

★秋刀魚の解剖お箸のメス揮ひ

というこで・・・

高橋 句会その他でいろいろな方にお会いになられたと思いますが、どういうお人柄の方が好きですか？  
滑稽句に好ましいですか？ 男性は人生豊かで面白い方、女性は若い方が・・・とか？（笑い）

会長 どのような方でもうまく合わせますが、嫌いなタイプは滑稽のわからない俳人ですね。だからもう大変・・・（笑い）

高橋 最後になってしまいましたが、会長の「どこかに哀しみがあるのが滑稽詩です」というお言葉と共に

### ★終生を夜勤に励み油虫

という句を載せられていらっしゃるんですね。  
睡眠時間も四時間程度で夜、お仕事とか・・・  
正に油虫に我が身を重ねていらしゃる様な句とお見受けしますが、お身体くれぐれもご自愛下さいませ様に！

益々のご活躍お祈りしております。  
今日は私の拙いインタビューにお付き合い頂きまして本当に有難うございました。

会長 私は文章書いても筆が走りすぎて失敗。  
喋っても口が廻りすぎて失敗そういう人生でした。  
私が「皆さん俳句ですよ」という本を出版したときに小学校時代の恩師が手紙をくれました。

八木君は筆が走りすぎるから心配している。  
・・・50年前の恩師です。ありがたいですね。  
今日のインタビューは幸い、失言もなく合格の答えができました（笑い）。ありがとうございました。  
ところで高橋さんはどのような方なのかご紹介しておきましょう。

私が一年間、ある新聞記者さんに俳句を教え50回日曜版に連載しました。その新聞記事は「俳句のツボ」という本になりました。平凡社からでましたが良く売れています。高橋さんはその記者さんのお母さんということで記者さんとほぼ同時に、俳句を始められましたね。

高橋 あらら、身元が暴露されちゃった。けどやはりこのインタビューご覧になった方はお知りになりたいでしょうから、仕方ありません

ね。

(2008年 9月号)